ツバメ 追加 HO D 抱き留めたルルは、気を失っているようだった。

ずっと張りつめるような空気をまとっていたから、きっと、家について緊張の糸が切れたのだろう。

俺は診察室のベッドにルルを寝かせた。

そして、布団をかけようとしたときに、彼女のポケットからなにか が飛び出していることに気がついた。

それは、調薬室の鍵。

フォルに飲ませた薬が脳裏をかすめる――そう、これが俺の、本当の目的。

父のいうとおり、薬屋リーファには秘密の調合書、万能薬が存在していたのだ。

フォルに飲ませた薬の効果は本物で、あの薬さえ手に入れば、母を治すことができると確信した。

薬さえ手に入れば、もう弱っていく母を見ることもない。

しかし、この鍵に手をつけてしまったら、もう戻れないだろう。

じゃあ、ルルにすべてを話す?

自分はルルに嘘をついていた、本当は万能薬を手に入れるために来 たんだと。

迷い、震える指先が、古びた鉄に伸びていく。

選択肢

1.薬を手にする 2.ルルにすべてを打ち明ける

シーンを進めるとココフォリア上に選択肢が表示されるので、 自身の選択を左クリックしてください。